

南信州広域連合第2回広域連合会議 結果報告

日時：平成30年5月15日(火) 15:09～16:56

場所：県飯田合同庁舎3階 講堂

【出席者】13市町村長、豊丘副村長、副管理者

〔南信州地域振興局〕土屋局長

〔飯田建設事務所〕坂田所長

〔飯田保健福祉事務所〕松岡所長

〔飯田広域消防〕関島消防長・大藏消防次長兼総務課長

〔飯田環境センター〕北原事務長

〔事務局〕高田事務局長・松江事務局次長・加藤事務局次長補佐兼庶務係長・櫻井広域振興係長・秋山介護保険係長・林庶務係主事

1 開 会…15:09

2 広域連合長挨拶

それぞれに大変ご多用の中、また暑い日になっているにも関わらず、お集まりいただいたことに感謝申し上げます。コンベンション、アリーナの関係については専門的な知見を有する三菱UFJリサーチ&コンサルティング株の加藤さんにも来ていただいている。加藤さんは、平成22年度のリニア将来ビジョン策定の際の有識者に加わっていただいていた以来、私共の地域に色々な形で関わってアドバイスをいただいております。今回もこのような形でお越しいただいている。改めてよろしくお願ひ申し上げます。後ほど知見についてご説明いただく。時間も限られているので、早速始めていきたい。よろしくお願ひ申し上げます。

3 協議・報告事項

(1) 平成30年広域連合議会第1回臨時会に提出する議案の内容について（資料No.1）【説明者：松江事務局次長】

① 報告第1号 専決処分承認を求めることについて（平成29年度一般会計補正予算（第5号））

・歳入歳出予算補正（歳入の科目変更）

→ 看護師等確保対策寄附金を看護師等確保対策修学資金貸与事業負担金へ変更

・繰越明許費補正

→ 新要介護認定支援システム導入事業（追加）

→ 産業振興と人材育成の拠点整備事業（変更）

② 議案第9号 南信州広域連合使用料及び手数料に関する条例の一部を改正する条例の制定について

・関係政令の改正に伴い危険物施設に係る審査等手数料を改定するもの

③ 議案第10号 財産の取得について

・旧長野県飯田工業高校特別教室棟を取得するもの（食品産業の拠点として整備）

・契約の相手方：長野県知事

・仮契約日：平成30年4月27日

④ 議案第11号 平成30年度一般会計補正予算（第1号）案

〈歳出について〉

・中核施設整備のための調査検討事業費6,000千円（コンベンション及び屋内体育施設に係るもの）

・看護師等確保対策のための修学資金貸付金（追加分）3,000千円 5名増に対する補正

〈歳入について〉

- ・看護師等確保対策推進基金繰入金 3,000 千円
- ・純繰越金 6,000 千円（中核施設整備のための調査検討事業費に充てる）

→ 説明内容確認、質疑なし

(2) 看護師等確保対策事業について（資料No.3）**【説明者：松江事務局次長】**

- ① 平成 30 年度看護師等確保対策修学資金申請者：10 名
 - ・ 5 月 29 日（火）選考審査会開催、貸与者決定
- ② 平成 29 年度看護師等確保対策修学貸与者（修学生）の状況
 - ・ 修学生：10 名（在学確認報告書及び在学証明書 確認済み）

→ 説明内容確認、質疑なし

(3) 飯田広域消防本部から（資料No.4）**【説明者：大藏次長兼総務課長】**

- ① 熱中症に関する注意喚起
- ② 熱中症疑いによる救急搬送の状況
 - ・ 救急搬送人員（昨年同日比）2 人（+1）

→ 説明内容確認、質疑なし

(4) 後援依頼について（資料No.5）**【説明者：加藤庶務係長】**

- ① 「第 11 回武田信玄狼煙会狼煙上げ」8 月 25 日（土）
- ② 「おおぐて湖つつじ祭り '18」 5 月 20 日（日）

→ 提案のとおり承認、質疑なし

(5) 南信州地域振興局長から

- ① 「しあわせ信州創造プラン 2.0」について
 - ・ 各市町村役場へ送付予定、周知願う。
- ② 「地域発 元気づくり支援金」について
 - ・ 2 次募集：平成 30 年 5 月 1 日（火）から平成 30 年 6 月 8 日（金）まで
- ③ 「南信州移住宣言～しごと篇～」の動画を県公式ウェブサイトで公開

→ 説明内容確認、質疑なし

(6) 飯田建設事務所長から

- ・ 水防の重要性について

→ 説明内容確認、質疑なし

(7) 飯田保健福祉事務所長から

- ・ 熱中症及び飲酒運転に対する注意喚起

→ 説明内容確認、質疑なし

(8) コンベンション施設及び屋内体育施設に関する検討について

○資料No.2 **【説明者：佐藤副管理者】**

これまでの当地域における議論を整理

- ① リニア将来ビジョン（平成 22 年 11 月）
- ② 基本構想・基本計画（平成 27 年 3 月）
- ③ リニア活用基本構想（平成 26 年 3 月）

- ④ しあわせ信州創造プラン2.0（平成30年3月）
- ⑤ リニアバレー構想（平成28年2月）
- ⑥ リニア駅周辺整備基本計画（平成29年6月）
- ⑦ 「基本的な考え方」をまとめるに当たっての視点（事務局案）
 - ・リニア時代の当地域の将来像を具体的に「グランドデザイン」として描く中で真に必要な（求められる）機能を改めて整理した上で、新たに施設を整備する場合の機能・規模・配置等の考え方をまとめる必要がある。
 - ・コンベンション施設検討の視点
 - 先行する大都市、他地域との競争となることを意識し、この地域の特性を活かしたコンベンションの在り方を検討。
 - ・屋内体育施設検討の視点：
 - 「するスポーツ」に加え、「観るスポーツ」という視点。
 - 全国レベルの大会が開催できる施設とすることについて。
 - 一流アスリート等の合宿地等、地域資源との連携による受け入れ態勢の構築。

○資料No.2-2 【説明者：三菱UFJ政策研究事業本部 執行役員 加藤氏】

- ① 2030年に向けた日本経済の姿
 - ・これからの日本経済の成長率は極めて鈍い
 - ・その中でリニア中央新幹線開通は明るい材料
- ② リニア中央新幹線の経済効果
 - ・名古屋開業：約10.7兆円 大阪開業：約16.8兆円
 - ・効果を大きく享受する地域の条件
 - 時間短縮が大きく発現すること
 - 産業、経済集積が大きいこと
 - ・都道府県別帰着効果
 - 長野県の便益は大きい
- ③ リニア時代の国土展望
 - ・2時間圏人口が増加
 - スーパーメガリージョンの形成
 - 経済のエンジン地域として、人口、産業及び投資が集中。
- ④ 南信州の地域づくりに向けて
 - ・三大都市圏から等しく到達できる中心地となり、交流が容易になる。
 - ・誘導すべき機能について
 - 優先性大：産業機能、コンベンション機能、研修所（合宿所）、スポーツ競技施設
 - 土台となる産業機能について優先して取り組むことが、この地域経済の活性化に繋がる。
 - ・広域交流をどう活かすか
 - コンベンション機能の活用
- ⑤ コンベンション機能について
 - ・コンベンション施設の立地、計画の状況について
 - ・コンベンション事業者のコメント（参考になるものとして抜粋）
 - 全国規模のイベント誘致は地方では不利
 - 大規模な施設は稼働率を上げるのが困難
 - コンパクトであることが稼働率向上に繋がる
 - コンベンション機能としてホテルは必須
 - ・南信州におけるコンベンション機能整備に向けた視点
 - 飯田を起点とした2時間圏が飛躍的に拡大し広域交流の舞台に
 - 三大都市圏からのアクセス性がバランスよく良好。大都市圏マーケットを視座に。
 - ※ 但し、交流機能を整備しなければ、通過点となってしまう。

- ※ コンベンション機能はリニア沿線の競合が激化する傾向にある。
- ※ 他地域、既存施設（飯田産業センター等）との棲み分けが必要。
- ※ 宿泊機能や他機能との動線確保

【質疑、応答】

- ・阿智村：山梨県のコンベンション計画は、どういう財源でどこがつくるのか。また、中津川の状況をわかる範囲で教えて欲しい。
- ・加藤氏：主体は山梨県庁、事業主体が変わることは考えにくい。中津川駅周辺の構想の中にコンベンション機能は謳われていない。岐阜県の検討中にもないとの認識。現在、中津川が考えているのは「1. リニアの見える丘公園」、「2. 道の駅」、「3. 車両基地を核とした産業団地の形成」の3点。
- ・根羽村：三大都市圏から飯田はアクセスが良いことは魅力的。特にこの地域は恵まれた景観環境がある。それとコンベンションがどのように結びつくのが一番良いか。
- ・加藤氏：地道な検討として、高原地域であって三大都市圏から等しくアクセスが良く、広域観光もある程度ある中で、今どこかで開催されている会議をここに持って来れるかの検討が必要。中長期的な視点として世界にとってこのテーマは飯田というコンベンションを創設していくこと。
- ・下條村：高原を活かすとすれば、必ずしも（駅周辺から）近くなくても良いか。
- ・加藤氏：一概に否定はされないとと思う。展示場、会議場、アリーナにはそれなりの平地が必要。3つの機能間の道線を確保するだけのリアリティがどれ程あるかを検討していく必要がある。加えて、宿泊機能との連携という環境整備も必要。
- ・阿南町：遅れても確実なところを歩むべきと考えるがその辺りはどうか。
- ・加藤氏：一個人の意見として、産業センターが出来て展示場等、会議室は確保されている。棲み分けのつく施設をじっくりと検討していくということであればあり得る。アリーナについては、それほど競合性が高くないので、アリーナを使ってくれるユーザーや誘致可能なイベントが想定されるのであれば、積極的に取りにいくという考え方もある。
- ・泰阜村：アリーナの具体的なイメージはどのようなものか。
- ・加藤氏：体育館の大きいものでかつ観客席が四方にしっかりとあるもの。機能の高いものだと、観客席の中に可動椅子を組み込んだものもある。可動的な使い方が出来、スポーツ・音楽イベントに使えるというのが特徴だが、床を傷めない範囲であれば展示場としても使える。
- ・高森町：駅周辺の開発がどのように着地していくかを検討していく余地がある時期なのか。
- ・飯田市：駅周辺のことについてはこれからの議論。
- ・高森町：駅前そのものの場所は決まっているのか。
- ・飯田市：駅として必要な機能は決まっている。
- ・泰阜村：市町村ごとレポート形式でまとめてみたらどうか。
- ・南信州地域振興局長：アリーナ・コンベンションは別々のものとして議論して良いのか、そうすべきでないのか。国体の関係もありアリーナは切羽詰まった意見も聞かれる。コンベンションについてはライバルも多く、ホテルの併設も考えると簡単な話ではない。スケジュール感を含めてこれからどのように議論を進めていくべきか。

- ・加藤氏：一般的に会議場若しくは展示場で構成されるのがコンベンション。アリーナは屋内型の多目的体育施設。コンベンション機能について、駅についているものでホテルが隣接していること。展示場と会議場の両方があるもの。これらが素晴らしい条件であることは、業界の定説。これに対抗していく議論はあまりないと思う。地方レベルでやっているコンベンション機能を参考に、当地としてどの程度の規模のどういう構成で配置を含め実現し得るのかという議論をしていくべき。その過程の中で、既存施設との棲み分けをどのように行っていくのかということの整理がつけば、スケジュール感も出てくるのではないかと。
- ・南信州地域振興局長：アリーナの機能としてコンベンションと密接に関わる部分もあるが、アリーナだけを切り離して検討していくことも可能か。
- ・加藤氏：時間差にすることも可能。
- ・副管理者：議論を深めるためにも、次回議論を戦わせる場となるように考えてきてくれるとありがたい。

4 今後の日程について

- 5月21日（月） 稲葉クリーンセンター連絡協議会 10：30
- 5月25日（金） 平成30年広域連合議会臨時会及び全員協議会 13：00 消防本部
- 6月2日（土） 県植樹祭（売木村）

5 その他

（一社）飯伊建築業協会からの車椅子の寄贈について

- ・寄贈された2台→「特別養護老人ホーム 赤石寮」、「特別養護老人ホーム 陽だまりの丘」に配置。

6 閉会…16：56